

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その16）です。

## ◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

## ◇ 企業紹介

【協同印刷株式会社】

地場産業である刃物のパッケージやカタログの印刷、計算ドリルやテスト用紙などの学習図書の印刷が主な事業です。最近では、CSR活動（企業の社会的責任）に力を入れており弊社が企画、構成の「せきえほんコンクール」を毎年開催しています。地域密着企業ならではの活動を行っています。



【HP】 <https://www.kyodoprint.co.jp/>

SDGs	取組中							

## ◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・協同印刷さんでは、名前の通り印刷をする会社です。またSDGsの方にも力を入れています。例えば、12個目の項目の消費を抑えて生産を安定させることなどです。GPマーク認証やベジタブルインキなどを使用することで環境にも優しくしていました。さらに仕事をする上でのやりがいや大変な事を聞かせていただきました。やはり褒められるということは、やりがいを感じる事ができ、モチベーションにつながるそうです。仕事をする上で大変なことは、自分のやりたい事とお客さんのやりたい事が合わない事が多いけどやらないといけないという点です。自分に合った仕事でないとモチベーションの維持などが難しいそうだなと感じました。まだ、僕は将来の夢が明確に決まってないので自分に合う仕事を見つけ続けられるようにしていきたいです。

・印刷の会社と聞いてただ紙を印刷しているだけかと思っていたけど、絵本のコンクールや、色んなことの仲介役をしていると聞いて、地域との繋がりが思っていたよりもずっと強く驚きました。また、殺菌の作用があるインクみたいなものがあるということを知りました。皆さん明るくていい会社だなと思いました。

・協同印刷さんは、GPマークやFSC認証紙を使用することで、環境に配慮することに繋がり、そ

れが SDGs の取り組みに貢献しています。また、関市のマスコットキャラクターである「はもみん」をマスキングテープや、マスクケースに印刷して販売することで、地域の活性化にも貢献しています。私はお話を聞いて、自分も知らないうちに貢献できていることがあるかもしれないと思いました。自分の生活を振り返って、貢献していることは続けていこうと思いました。

・最初は新聞なんかには挟まっているチラシを作っているのかなと思っていたけど、刃物のパッケージを作るなど色々なことをしていると知りました。関絵本コンクールは協同印刷さんが主催していることが分かりました。コンクールがあることは知っていたけれど、今回の講座で協同印刷さんがどんな思いで行っている活動なのか知ることができました。これが SDGs の活動につながっていることが分かりました。2 度と同じチラシ、印刷物を作るわけではないので情報を間違えて伝えてはいけないということが分かりました。

・習字の筆の紹介プリントや、絵の工具箱の紹介プリントなどの普段、先生からもらっているものや計算ドリルなど身近なものを印刷されていることを知って驚きました。また、SDGs の活動については、意識しなくても SDGs のような活動をしていると話をされていて驚きました。どのような機械を使っているか、どれくらい高いものなのかなどを知れて面白かったです。

・2、3 年前から SDGs に力を入れ始め、17 の目標の中でも特に 4 に力を入れているそうです。関絵本コンクールなどの地域に根ざした活動がすごいなと思いました。地元の就職イベントなどにも参加しているそうです。また印刷会社ならではの、GP マーク認証、FSC 認証紙、植物性インクを使っているそうです。

・協同印刷さんのオンラインセミナーを受けて、地元を大切にしているなあと一番感じました。地域貢献として関絵本コンクールを開催していると聞いて、印刷会社と私たちとでは関わる機会があったことに気づいた。社員さんの意見を聞いて、とても仕事にやりがいを感じていて、やりがいがあるからこそ、社会で成功していくのだなと思った。SDGs は身近にあると仰っていた様に僕も身近なことでもいいので見つけて行動していきたい。

・この講座で、最初は SDGs の取り組む課題が多い事からこの企業を選んだが、そもそもの印刷業を行う上で、絵本コンクールなど地域と結びついた活動も行なっていた。印刷紙にも FSC 紙(管理された山の木で作られた紙)の使用をするなど環境にも配慮していることが分かった。印刷業は SDGs とは一見関係のない物だと思ったが、少しずつでもできることは多くあるのだと思った。

・協同印刷さんのことを今まで存じ上げていませんでしたが、今回のお話を聞いて、書写の教科書をつくっていらっしやったり、関絵本コンクールの企画をしたりするなど、すごく身近な存在だったと思いました。会社と SDGs の取り組みのお話で、環境に配慮した紙を扱っていることや、無駄になる紙などを極力出さないようにすることに気を付けていらっしやっていて、いいなと思いました。

・紙は、使い捨てでゴミが増える原因のひとつだが、それを覆すように使い捨てでもまた再生して使えるような再生紙を作っていて、これからの地球のためにやっていることがわかりました。SDGs の項目の一つの質の高い教育のここでは独自の絵本コンクールを開催するなどの工夫がみられて良かったなと思います。

・協同印刷株式会社さんは SDGs に向けて様々な取り組みをしていることがわかりました。2 番に対しては職員の皆様に向けて栄養バランスの良いお弁当を渡していることがわかりました。4 番に対しては関絵本コンクールを開催し地元の小中学生に絵本を書いてもらい地元との関わりを大切にしていることがわかりました。また GP マークがついた環境に配慮したインクを使っていたり植物性のインクを使っていたりと環境の事を考えていることがわかりました。他にも FSC 認証紙や SIAA マークなど様々な取り組みをしていることがわかりました。

・今回思ったことは気づいてないだけで普段自分が行なっていることが実は SDGs に繋がっていることが沢山あることがわかりました。印刷の機械が 2 億円もして驚きました。抗菌のインクを使って、紙のマスクケースを作っているそうです。関高校を卒業して、デザインを学んで入社した、新入社員の方の話も聞きました。包丁の箱などを多くの数作っていて、社員さんも「こんなに包丁が売れていくのか」と思ったそうです。

・名前の通り印刷するだけの会社だと思っていたら、意外にもその印刷するデザインや、それを頼んでくる客の相談を受けるなど、印刷ではなく地元で作られる刃物のパッケージを作るなどいろんなことをしていると聞いて驚いた。SDGs の取り組みは、4 の「質の良い教育をみんなに」について、関絵本コンクールを行っていて、みんなに絵本を募集して選ばれた作品を実際に本にして、図書館などに配るということをしている。自分も関絵本コンクールというのは知っていたけど協同印刷が行なっているものだとは思っていなかった。また、13 の「気候変動に具体的な対策を」では、GP マークがついた紙を使っていると聞いた。環境に配慮されて作られた紙がもらえるマークで、それを積極的に使うことによって環境に配慮しているようだ。

・ただ紙を作るわけではなく、自然にどれほど影響をあたえているのか、そういう自分達の罪のような意識を持ちながら生産を行う謙虚な姿勢に感動しました。今やかなり知名度があると仰っていましたが、そんな姿勢だから、誰もが頷けると思います。また、講座をしている最中に会社の紹介動画のようなものを見せていただき、本当にわかりやすく知ることができて良かったです。